

手を離なく親と子



令和5年3月発行 登別市教育委員会 学校教育グループ「子育てコラム」 No.19

子育てを楽しんで！

親として「こんな子どもに育ててほしい」という思いはそれぞれお持ちのことと思います。いつの世も子育てに思い悩むのが親の宿命です。「ここは叱るべきか、様子を見るべきか」「買ってやるか、我慢させるか」「誉めてやろうか、甘いかな？」日々悩みは尽きません。そこで我が身を振り返り、今思うことを二つ三つ。

1. 親の背を見て子は育つ

子育てというのは、誰しも悩みが多いものですし、不安もあるものです。

子育てのポイントとしてよく使われる格言に次のようなものがあります。

『やってみせ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば、人は動かじ。』

《実力＝やる気×集中力×時間》と言います。ですから、いくら怒りつけて集中力を高め、長時間勉強（練習）させても、本人のやる気が0であれば結果は0ということになります。

そのやる気を持たせるための格言です。「子どもは親の背中を見て育つ」とも言われます。

是非皆さんも親としてはなかなかつらい部分ですが、「やってみせる」と「ほめてやる」の部分を心がけて接してみたいはいかがでしょう。

「やってみせる」は何も勉強をやってみせることではありません。

つらいことや苦しいことに前向きに取り組む姿勢を見せることでいいのです。

たとえば、

- ・子どもの弁当を作ること、休み中のお昼ご飯を作るときには「面倒くさい」などとは決して言わず、「どんなものが食べたい？」と腕まくりしてやる。
- ・どんなにお仕事で疲れていても、子どもの話を真剣に聞いてやる。
- ・必ず子どもより早く起きて朝ごはんを作って食べさせて学校に送り出す。
- ・忘れ物が多い子どもの場合は、親が確認することも必要です。つまりは「やってみせる」なのです。



また、親としては子どもに大きな期待もしますし、少しぐらいのことでは、なかなかほめられないものですが、子どもは親のほめ言葉をいつも待っています。たとえすぐに結果が伴わなくても、親のほめ言葉は次へのやる気の原動力になることは間違いありません。

朝は布団の中から「いってらっしゃ〜い」「ごはんは？」「給食あるからいいしょ！」

こんなやり取りをしているようでは…子どもは荒れていきます。

2. 「世界に一つだけの花」

『個性』という言葉が世の中で良く使われるようになってずいぶんたちます。

「個性を大切に・・・」「個性を伸ばす子育て」等々。

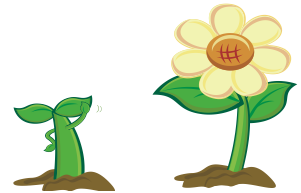
SMAPの歌った「世界に一つだけの花」

・そうさ 僕らも 世界に一つだけの花 一人一人違う種を持つ

その花を咲かせることだけに 一生懸命になればいい

・小さい花や 大きな花 一つとして同じものはないから

No.1にならなくても いい もともと特別な Only one



『個性』をよくとらえ表現している素晴らしい歌だと思います。

ただ、心配なことが一つ。頑張って子育てをする中で「一人一人違う」というところだけを見て、「個性とは他の人と違うこと」と親が勘違いすることです。

・髪を茶色に染めるのは個性だ。・耳にピアスも個性だ。・だらしない服装も個性だ。

まったくの間違いですね。個性とはそんな見た目やお金で解決できるものではありません。あくまで一人一人の子どもの良いところ。『個性＝良さ』なのです。

・優しい気持ち ・運動が得意 ・正義感が強い ・友達思いだ

・国語が得意 ・絵が上手 ・料理が好き などなど

それぞれの子どもの良いところ（個性）を大切に伸ばしてゆくのが親の務めなのではないでしょうか。

3. 子ども部屋の生活

子どもは一人の部屋を欲しがります。親としては子どもに個室を与えれば、部屋にいて勉強しているという幻想を抱いてしまうのも仕方ありません。だけどちょっと待って。子ども部屋には誘惑がいっぱい。マンガにゲームに、そして寝ていても怒られないベッドや床。スマホなんかを与えたときはもうやりたい放題です。親の目のないところで自分から勉強できる子どもというのは、果たしてどれくらいいるのでしょうか。

そこで最近注目されているのが「リビング学習」です。子どもは基本的に勉強嫌いであり、一人で勉強できない子は少なくありません。つまり、勉強スペースがリビングにあることで、生活習慣の一部として勉強に取り組みやすくなるのです。子どもと親の距離が近い場所で勉強できるという学習環境がリビング学習の一番のメリットといえます。そのほかにも子どもの勉強を見守ったり教えたりすることができることや子どもが勉強しているかどうかですぐ分かる、家族のコミュニケーションが増えるといったメリットがあります。

4. 親のスタンス

子どもは生まれた時から成長を続けます。親はその成長を助けるのが役目です。

けれども、親は永久に子どもと一緒にいてお世話をすることはできません。

ですから、子どもの成長にしたがって親のスタンスも変わっていきます。最終的な目標は、子どもの自立です。一人で働いて生活し、一人で掃除洗濯をし、ご飯を食べていくことです。

親はそうなった時に困らないようにしてあげることが大切なんですね。ちょっと寂しいけれど、子育ての時期はあっという間に過ぎてしまいます。楽しんで行きましょう。